

福島第一原子力発電所現地確認報告書

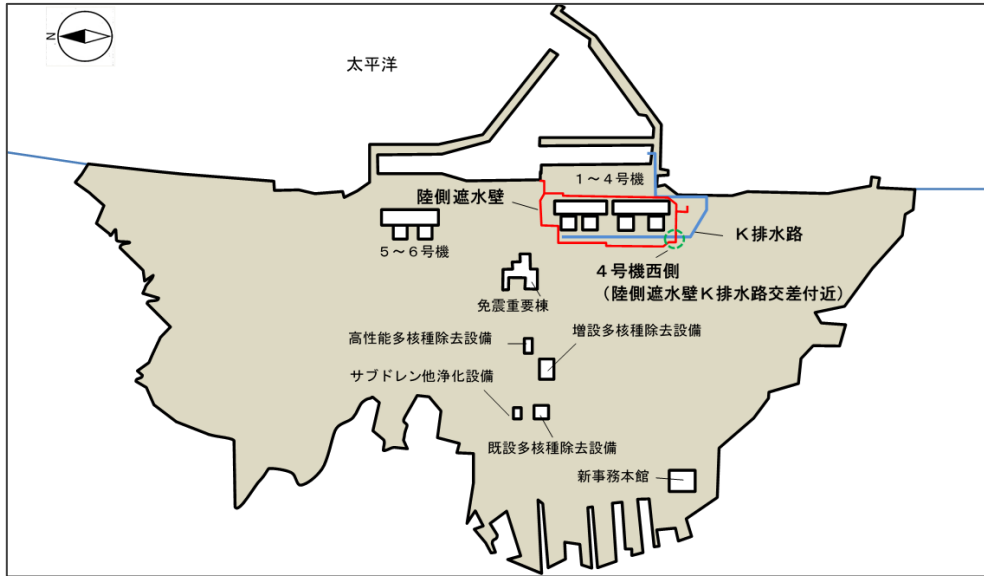
- 1 確認日
令和3年11月12日（金）
- 2 確認箇所
4号機西側（陸側遮水壁K排水路交差付近）
- 3 確認項目
陸側遮水壁測温管の温度上昇の状況

4 確認結果の概要

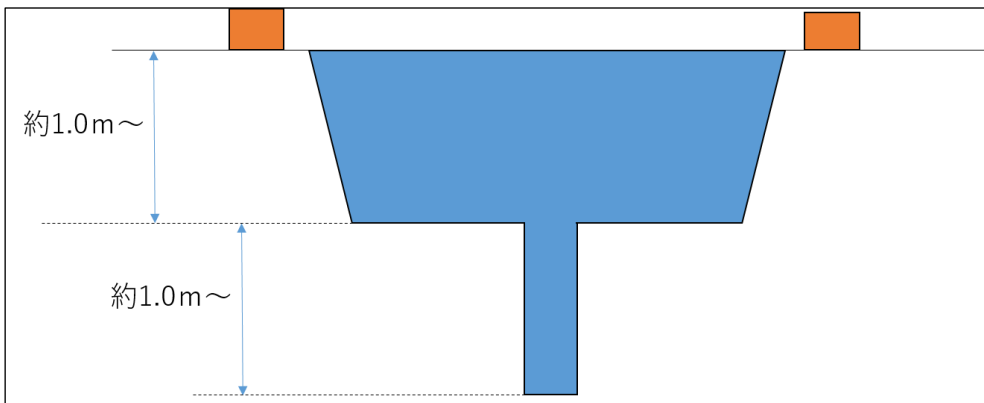
福島第一原子力発電所では、原子炉建屋等へ流れ込む地下水の量を減らすため、1～4号機建屋周囲に陸側遮水壁（凍土壁）を設置している。

陸側遮水壁について、一部の地中温度が今年8月下旬から上昇し、10月13日時点で0℃を超えている状態が継続している事象が確認された。その後の調査で地下水がK排水路底部のコンクリート剥離箇所から排水路内へ地下水が流入していることが確認されたことから、陸側遮水壁周りの地盤調査を行うための掘削作業が11月10日より実施されている。前日（11月11日）に引き続き、本日も現場の状況について確認した。（図1）。

- ・人力で掘削作業が行われており、掘削箇所には目視で深さ約1mの穴が掘られていた。また穴の周囲には雨水浸入防止用に土嚢が設置されていた。（写真1）
- ・穴の中ではさらに小さな縦穴が掘削されており、測温計が中に入れられ、温度を測定していた。中を確認したところ、地下水や氷は確認できなかった。（写真2）
- ・東京電力では地上から深さ2m以上を掘削して、地盤の状態と地中の温度を観測していくとのことであった。（図2）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(図2) 陸側遮水壁周りの地盤調査イメージ図



(写真1-1)
掘削作業中の現場の状況



(写真1-2)
陸側遮水壁内側の掘削状況について



雨水浸入防止用土嚢
(写真2)
(写真1-2)の赤枠内の拡大図

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。